

平成 28 年度 事業報告

法人全体

平成 28 年度パーマリィ・イン中道におきましては、施設全体での稼働率は 87%。

また、パーマリィ・イン千鳥山荘におきましては、施設全体での稼働率は 88%。

続いて、パーマリィ・イン西神春日台におきましては、施設全体での稼働率は 81%。

3 施設共に共通していることとして、通所介護の稼働率の低迷が続き、施設全体の稼働率が伸び悩んでいる状態となっております。

パーマリィ・イン中道

特別養護老人ホーム

平成 28 年度は 94%（前年比 1%増）の稼働率となりました。

長期入院された方が複数名いた事と 2・3 名の方の退所が重なった時期が続き、稼働率が少ない時期がしばらく続いておりました。

事業計画としましては、施設内会議・研修 55 件実施、施設外研修 103 件参加し、実習生は延 19 名受け入れ、ボランティアの方々には 363 名受け入れております。

短期入所生活介護

平成 28 年度は 93%（前年比 2%減）の稼働率となりました。

長期利用予定者の入院が重なった事と、新規利用者がリピーターにならず単発の利用で終わってしまうことが影響し、稼働率の低迷が続いたことが原因と考えます。

通所介護

平成 28 年度の稼働率は 66%となりました。

定員数 40 名に対し、1 日平均利用者数が 25 名前後と続き、特に水・土・日の利用者数が 10～15 名と少なかった事が影響しております。

訪問介護

年間を通して、利用登録者数はやや下降気味でしたが、サービス提供時間は増加傾向となっております。その為、微量ではありますが、介護報酬も増加傾向となっております。

居宅介護支援

平成 28 年 4 月に 1 名のケアマネジャーが西神春日台への異動となりプラン件数の減少が見られております。以降は入院された方の影響で減少することもありましたが、年間を通してほぼ横ばいの推移となりました。

地域包括支援センター

近隣地域における課題について、様々な職種や地域団体が集まり、地域ケア会議を開催し、民生委員や自治会、更には医療関係者・介護事業所等を交え、その 1 つとして、会下山地区は坂が多く、集いの場が少ない為、生活支援を必要としている方等の情報収集の場がなく、問題大きくなってから、発覚するといったことがあった為、地域の住民と一緒に何ができるのかを現在も継続検討しております。

また、近隣住民や居宅介護支援事業所から高齢者虐待疑いの相談対応として、区のあんしんすこやか係と連携し、対応をしていきました。

地域支え合い活動推進事業

地域支援者の高齢化の影響による、友愛訪問ボランティアグループの解散もあり、次の世代にも、地域見守りに触れていただこうと考え、地域で開かれている、ふれあい喫茶に児童とその保護者を招き、世代間交流を開催しました。

地域見守りの必要性を若い世代に周知できるよう現在も取り組みを行っております。

介護機能強化モデル事業（LSA）

ルゼフィール中道住宅の住民の方々に対して、訪問活動や電話による安否確認、また生活相談を行いながら、必要時は行政や担当ケアマネジャー、地域包括支援センター等、各関係機関と連携し、安心して暮らせるための支援を行ないました。

モデル事業として安否確認の機能も果たす配食サービスの提供を行い、年間の月平均 234 件行いました。

平成 28 年度 事業報告
パーマリィ・イン千鳥山荘
特別養護老人ホーム

特別養護老人ホームでは、重度化の急速な進行に伴い入院者数の延べ人数が年間 36 人(前年度比 10 人増)、入院延べ日数では、年間 416 日(前年度比 77 日増)となり、退所者も前年度と比較して増加致しました。しかし現在は新入所者が増えたことにより入院者、退所者共に減少してきております。

施設行事等に関しましてはボランティア等の受け入れを積極的に行い、また地域で開催している、防災訓練や、会議等に参加し、地域との繋がりを強化することにより、地域との交流が深めることができ充実した内容となりました。施設内会議・研修は 200 件実施、施設外研修には 14 件参加しました。また、ボランティアの方々は約 141 名受け入れ、実習生に関しましては 79 名の受け入れとなりました。

短期入所生活介護

短期入所生活介護では、ユニット型個室の特性を活かして、長期間利用者とリピーターの利用者を確保しながら急な利用依頼への迅速な対応と受け入れを行なった結果、より安定した水準で運営することができました。

通所介護

通所介護では、施設近隣のあんしんすこやかセンター、居宅介護支援事業所を中心として緊密に連携を図ることで利用者を新規獲得できるように努めました。ボランティアの方々の協力を得ながら様々なレクリエーションや行事を企画して利用者に喜んで頂くことでリピーターを増やすことができました。

小規模多機能型居宅介護

小規模多機能型居宅介護では、重度化した利用者に対しての適切なサービスへの見直しと移行を進めた結果登録者が減少致しました。しかし同時に新たなサービス提供体制を構築し小規模多機能型居宅介護本来の特性を最大限活かすことを目指した地域に密着した利用者の獲得を図ることで登録者を増加させることができております。

訪問介護

訪問介護では、入院や重度化に伴い施設系サービスへの移行や入所される方が増加傾向にありましたがあんしんすこやかセンターや居宅介護支援事業所と連携し、新規利用者の獲得に迅速に対応する事により安定したサービス提供を行なえました。

居宅介護支援

居宅介護支援では、近隣のあんしんすこやかセンターとの研修や会議等に積極的に参加し連携を強化する事で新規利用者をスムーズに獲得することができました。また利用者や家族の意向、要望にしっかりと耳を傾け 1 人 1 人に合ったケアプランを作成、実行、そして見直しを行うと共に他のサービス事業所担当者と密に連絡を取り合い信頼を得ながら安定した運営を行うことができました。

平成 28 年度 事業報告

パーマリア・イン西神春日台

特別養護老人ホーム

平成 28 年度は、開設 6 年目で開設当初より入居されていた利用者が体調を崩される事等の背景もあり、年間で 40 名近くの入退所がありました。前年度と比較すると入退所数は横ばいではありますが、長期の入院も多く、年間の稼働率は 89%の稼働となりました。

施設行事等に関しましては、昨年度同様に隣接する滝川第二中・高等学校と関わる機会を多く持つ事が出来ました。また、地域でのお祭り行事や檜野台小学校福祉体験学習へ参加させて頂く事で、地域の方々との交流が深まった内容となりました。施設内外の研修は 168 件行い、実習生の受け入れは延べ 57 名となっています。ボランティア活動に関しては、年間で延べ 815 名もの皆様に活動をして頂いています。

ケアハウス

平成 28 年度は、本館では年間 89%の稼働率となりました。開設時から入居されている利用者には、介護度の増悪がみられ、長期の入院をする方も多く、中には重篤化し、退所になられる利用者もおられました。華邸に於きましては年間で 81%の稼働率となりました。4 月開設より 4 ヶ月でほぼ満床となり安定した稼働となっております。入居に関しては、華邸オープンに伴い見学や申し込みが増えた事で、速やかに申し込みから入居まで行う事が出来ています。

短期入所生活介護

平成 28 年度は、年間で 86%の稼働率となりました。特別養護老人ホームに入居希望されている方への円滑な入居を優先する事で稼働に影響がみられましたが、特別養護老人ホーム入院中の空床利用を行う事で地域住民の方々にショートステイの役割を果たす事ができました。

通所介護

平成 28 年度は、年間で 66%の稼働率となりました。昨年度に比べショートステイへの移行や入院が目立ち、稼働率は下がってはいますが、在宅支援としての役割を担う事ができました。また、地域の居宅介護支援センターや地域包括支援センターとの連携を強化する事で新規利用者を多く獲得する事ができました。

訪問介護

平成 28 年度は、年間を通じて急な入院等の理由により要介護者の利用率の低下が見られました。要支援利用者数に於きましては増加傾向にあり、安定した利用率となっています。

居宅介護支援

平成 28 年度は、同区内あんしんすこやかセンターより毎月、新規依頼を頂き、安定した利用者数の確保に繋がっています。また密に連携を図りながら困難ケースの対応にあたり地域高齢者のより良い支援を目指した運営ができています。